

杜
嬌嬌

私は七月二十七日から三十日までの三日間
山西同郷会などが主催するサマー・キャンプ
に参加しました。その三日間滞在したのは二
十一世紀飯店というホテルでした。四、五年
前私がとまっていたホテルとちがってよく設備が
ととのつていてあまり不便なところはありません
でした。この数年でほんとうに中国は発

展していろんなところを回りました。ホテルだけ
ではなく道路などいろんなところを回りました。な
な。ていてほんとうに変わったなとつくづく
思いました。

七月二十七日人民大会堂で開会式がありました。
とでも盛大な開会式でした。午後には願
和園の中を見学して回りました。私は何回
かきたことがありますが、なん回見てもあま
ない景色だなと思いました。この日私は新し
い発見をすることができました。その発見と

は、頤和園でおじいさん、おばあさんがスポ
ンジで作った筆でそのタイトルの中に一字、一
字と漢字を書きこんでいたことでした。なせ
だらうと私は不思議でたまりませんでした。
しかし、おじいさん、おばあさんの顔はどこ
かたのレターでした。

七月二十八日の日は朝の四時くらい起床
し、天安門で昇国旗儀式を見にいきました。
人があまりにも多くいて、あまり近くに行
くことはできませんでした。しかし、初めて見るもの

になんたか感激しました。午後、天壇と故宮を見に行きました。朝が早か、たせいかホテルに着くと疲れがどどとおしあせてきました。

七月二十九日この日はまじにまた万里の長城を登る日でした。雨が風ともに激しく一度はのぼるのはよしておこうと思っただけですが途中からだんだん雨も風もよわまってきたので、長城のてっぺんまではいかながのぼることができませんでした。

全体を通して、自分があまり知らない人々とふれあったり、自分の祖国の歴史にふれたりと、なかなか充実した三日間だと思えました。